

平成 29 年度 砺波市行政改革庁内会議 職員提案検討部会 報告書

平成 29 年度において砺波市行政改革庁内会議に設置された職員提案検討部会では、幅広い観点から提案のあった行政改革・事務改善に関する職員提案について、調査・検討を行った。

1 結果

行政改革に関する職員提案の自由提案、課題提案として「働き方改革について」及び事務改善を募集したところ、全部で 47 件(昨年 38 件)の提案があった。すべての提案毎に、それぞれ関係する課の意見等を情報収集し、部会において実施の適否、実施時期、担当課等について検討し、結果について次のようにまとめた。

(1) 今年度から取り組むもの	2 件
(2) 担当課等の検討及び調査後、翌年度中に取り組むもの	1 件
(3) 今後引き続き担当課等において検討するもの	14 件
(4) 実施済みのもの	5 件
(5) 実施しないもの	25 件
	計 47 件

また、「改革・事務改善職員提案表彰制度」に基づき、改革提案部門の自由提案及び課題提案並びに事務改善部門から、それぞれ優れた提案として表彰の対象とするものを選考した。

2 調査・検討の結果

職員提案に対する主な意見は、次のとおり。

(1) 今年度から取り組むもの 2 件

- ア 市職員全員の市緊急メールの登録
⇒ 市職員として当然の備えであり、全庁的に速やかに実施されたい。
- イ NI コラボで基本的なマニュアルの共有化
⇒ NI コラボにマニュアルのルームを開設し、基本的なマニュアルをまとめて掲載する等総務課で対応を考える。

(2) 担当課等の検討及び調査後、翌年度中に取り組むもの 1件

- ア 庄川支所職員駐車場の変更
⇒ 提案を受け、混雑が予想される日は庄川生涯学習センターに駐車することとした。来年度からは、駐車場所を四つのグループに分け、うち1グループは庄川生涯学習センターに駐車する方向で検討中である。

(3) 今後引き続き担当課等において検討するもの（主なものを抜粋）

- ア シティプロモーション 砺波グッズの展開
⇒ 予算、費用対効果、ニーズ等を見極めながら、商品の選定、価格設定、ロット数を考慮し継続して実施する。

- イ 災害時用ヘルメットを全職員に支給
⇒ 有事の際には、職員が第一線に立って活動しなければならないため、ヘルメットは必要である。必要数及び他市の状況も調査する必要がある。

- ウ 公用車の適正配置
⇒ 課によっては、緊急時のために確保しておく必要がある等、様々な事情がある。定期的に貸出しする車両を見直す等対応は各課の判断に委ねる。

- エ まなび交流館の指定管理による運営
⇒ 指定管理者の選定方法も含めて、担当課で検討するものとする。

- オ 女性職員活躍のための就業環境の整備
⇒ 育児休業からの復帰時のサポートも含め、研修等を総務課で検討するものとする。